

Innovative Technologies 2013 特別賞決定

コンテンツ技術イノベーション促進事業の一環として、デジタルコンテンツEXPOと連動し、コンテンツ技術の更なる活用と発展を目的とした、「Innovative Technologies2013」を実施しました。「Innovative Technologies2013」は、71件の応募の中から、コンテンツ技術専門家を委員とする評価委員会による厳正な審査を経て、20件の優れたコンテンツ技術を採択いたしました。

(20件の採択技術は下記URLより詳細をご覧ください)

<http://www.meti.go.jp/press/2013/09/20130910001/20130910001-2.pdf>

10月24日から開催しているデジタルコンテンツEXPOの中で、20件の採択技術の中から、特にコンテンツ以外の産業分野への波及・応用の可能性が高いものを選定する「特別賞選考会」を行いました。ここでは、各産業界等を代表する19名の選考委員が、デジタルコンテンツEXPO会場に展示されている技術を実際に体感し、「Industry」「Culture」「Human」「Ecology」の4つの観点から選定しました。特別賞を贈呈された技術は以下のとおりです。

Industry

特にデジタルコンテンツ分野以外の産業分野への波及・応用が期待される技術

採択技術名：1ms オートパン・チルト

採 択 者 名：東京大学 石川奥研究室

講 評

ヨーヨーのような急激に加減速を繰り返す物体を、当該研究室で有している高速ビジュアルフィードバック技術で追跡し、画面の中央にびたりと静止させて捉えることに成功している。スポーツ中継などに役立つのはもちろん、瞬時に物体の映像を判断する必要がある車やロボットなど、製造業などの産業での応用が期待される。

Culture

特に文化・芸術分野への波及・応用が期待される技術

採択技術名：アクアトップディスプレイ

採 択 者 名：電気通信大学 情報システム学 小池研究室

講 評

ユーザーにとって安心感のある入浴剤を用いて水面をディスプレイにして、水の中から手を出し入れする操作や、ディスプレイ面の爆発など、水をディスプレイにしなければできないユーザーインターフェイスと表現方法を可能にした点が高く評価できる。

今すぐにも温泉などのレジャー施設や大規模テーマパークなどで、大人も子供も楽しめるものを作ることができる。また、広告などにも利用できる可能性を有している。

Human

特にライフサイエンス分野への波及・応用が期待される技術

採択技術名：ブレインコンピューターインターフェイス技術による人工神経接続

採 択 者 名：生理学研究所・認知行動発達機構研究部門

講 評

ブレインコンピューターインターフェイスはいわば身体をデジタルメディア化する技術であり、当該技術は脳からの司令を、脊髄をスキップして末梢に伝達することで、障害や怪我などの身体制約を改善する可能性を秘めている。

脳と体との新たな結合が見える技術であり、将来的にサイボーグにつながる技術としても期待できる。

Ecology

特に環境分野への波及・応用が期待される技術

採択技術名：人工脳SOINN

採 択 者 名：東京工業大学 長谷川修研究室

講 評

自然界の未知の状況に直面した時、インターネット上の画像や動画、音情報を自ら検索し、それを学習していくという自己増殖型ニューラルネットワークを持っており、日々更新、蓄積されていくビッグデータの解析手法として様々な分野への応用が期待される。

例えば外来種を、おびただしい数の生物データから同定したり、災害時の状況把握など緊急の対応を要する作業を、多くの人的な資源を投入することなく行える可能性を秘めた技術である。

Innovative Technologies 2013 の仕組み

Innovative Technologies 2013 とは、コンテンツ技術イノベーション促進事業の一環としてコンテンツ技術のさらなる活用と発展を促進するため、経済産業省が実施するものです。公募等によって集められた候補の中から20件の技術が採択され、デジタルコンテンツEXPO 2013の会期中に一般公開しています。また、10月24日の「特別賞選考会」において、採択技術の中から特に他産業への波及、応用の可能性の高いものを特別賞に決定いたしました。



審査委員

■審査委員 (各3名、50名)

石川 勝 東京大学 IRT研究機構 特任研究員
 稲見 昌彦 慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授
 猪子 寿之 チームラボ株式会社 代表取締役社長
 内田 まほろ 日本科学未来館 運営事業部 部長代理
 遠藤 諭 株式会社角川アスキー総合研究所 取締役 主席研究員
 加治佐 俊一 マイクロソフトディベロップメント株式会社 代表取締役社長
 兼 日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 最高技術責任者
 河合 隆史 早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科 教授
 河口 洋一郎 東京大学 大学院情報学環 教授
 館 暲 慶應義塾大学 特任教授 / 東京大学 名誉教授
 月岡 章仁 株式会社デジタイズインフォメーション 代表取締役
 廣瀬 通孝 東京大学大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 教授

特別賞

Industry
 特にデジタルコンテンツ分野以外の産業分野への波及・応用が期待される技術

Culture
 特に文化・芸術分野への波及・応用が期待される技術

Human
 特にライフサイエンス分野への波及・応用が期待される技術

Ecology
 特に環境分野への波及・応用が期待される技術

選考委員

■特別賞選考委員 (各3名、50名)

大野木 寛 脚本家
 大森 雅之 株式会社ベネッセコーポレーション 中学生事業部 備点力学習DSシリーズディレクター
 黒木 義博 トヨタ自動車株式会社 パートナーロボット部 先行開発室 プロフェッショナルパートナー
 河野 透 NPO法人 森林セラピーソサエティ 事務局長 / 多摩美術大学 非常勤講師
 佐藤 康弘 大成建設株式会社 技術センター 建築技術開発部ニューフロンティア技術開発室 次長
 庄司 卓 株式会社セガ 開発統括本部 研究開発ソリューション本部 本部長
 館 暲 慶應義塾大学 特任教授 / 東京大学 名誉教授
 團 紀彦 建築家
 中郡 聡夫 東海大学医学部外科学系 消化器外科学 教授
 中島 信也 株式会社東北新社 取締役 専務執行役員 CMディレクター
 名村 栄次郎 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 広報部 企画・普及グループ グループ長
 蟻川 有紀 画家 / 女優
 翔瀬アツカ 株式会社BS-TBS コンテンツ推進局 局長
 福嶋 麻衣子 株式会社モエ・ジャパン 代表取締役
 古川 享 慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授
 松永 芳幸 株式会社コスバ 代表取締役社長
 村上 敦浩 株式会社カカコム 取締役 食ベログ新規事業担当
 山岡 隆志 株式会社エイチ・アイ・エス 事業開発室 室長
 吉村 孝郎 トーマツベンチャーサポート株式会社 代表取締役社長